

主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担 当 課	KPI（成果指標①）							KPI（成果指標②）							予算額 （千円）	決算額 （千円）	評価	主な取組と成果に対する評価	今後の 方向性		
					事業目標	目標 年度	基準値	基準 年度	目標値	実績値	達成率	事業目標	目標 年度	基準値	基準 年度	目標値	実績値	達成率							
Ⅲ「安らぐまち」の実現																									
自助・共助・公助による 防災力のさらなる強化	1	大規模災害に 備えた備蓄整 備事業	「福岡県地震に関する 防災アセスメント調査」 による本市最大避難者数 （約22,000人）の想定を 基に、非常用食料、非常 用飲料水、要配慮者用の 生活物資等を、市内で計 画的に備蓄整備する。	危機 管理 課	備蓄の適正 量の整備	—	食料 198,000食 飲料水 6,600ℓ ミルク 2,400食	R5	食料 198,000食 飲料水 6,600ℓ ミルク 2,400食	食料 198,000食 飲料水 6,600ℓ ミルク 2,400食		100.0%									19,263	22,364	順調	非常用食料、非常用飲料水、要配慮者用の生 活物資等を、5年サイクルで1/5ずつ購入・入替 することにより、計画的に備蓄整備している。	継続
	2	地域と連携し た避難所開 設・運営事業	迅速な避難所の開設や 地域防災力の向上等のた め、市と地域住民が連携 し避難所の開設・運営を 行う。	危機 管理 課	参画する校 区まちづく り協議会数	—	35校区	R5	40 校区	37 校区	92.5%										7,600	5,790	概ね 順調	達成率は100%ではなかったものの、令和6年 度に、市と参画団体との連携強化及び避難所運 営体制の見直しを行ったことで、参画校区数は 増加した。 引き続き、地域への事業説明等を通じて理解 を深め、参画するまちづくり協議会数の増加を 図る。	継続
	3	市総合防災訓 練	近年、大規模化、激甚 化が進む災害に対応する ため、災害シミュレー ションの検討を行い、よ り実践的で効果のある訓 練を実施する。	危機 管理 課	「実際に災 害が起きて も対応でき る・概ね対 応できる」 と回答した 人の割合の 上昇（訓練 実施後にア ンケート）	—	77.0%	R5	80.0 %	82.0 %	102.5%										6,000	3,982	順調	令和6年度は、市職員の災害対応能力の向上 を目的として、災害対策センター運営訓練を実 施した。訓練後の参加者アンケートでは、「実 際に災害が起きても対応できる・概ね対応でき る」と回答した職員の割合は82%であった。 災害対策センターは、北九州市の災害対応に おいて重要な組織であるため、人事異動等職員 の入れ替わりに対応できるよう、継続的に実施 していく。	継続
	4	個別避難計画 作成促進事業	災害発生時等に自力で 避難することができない 避難行動要支援者（高齢 者や障害者等）の個別避 難計画を、福祉専門職と 連携して作成する。	危機 管理 課	個別避難計 画作成率	R8	37.0%	R3	65.0 %	68.8 %	105.8%										4,900	4,227	順調	個別避難計画作成対象者の中で、自治会等 での作成が困難であった対象者について、福祉 専門職に作成を委託したことにより、個別避難 計画作成率が向上した。	継続